

【サークルや社会教育関係団体の活性化によって期待される効果】
地域力の向上（まちの活性化）

ワーク③より

活性化

サークル・社会教育関係団体

（生涯学習課・公民館等で把握しているサークル数【約800団体】、認定されている社会教育関係団体数【35団体(H31)】）

【魅力・存在意義】

（魅力について）

- ・人と人とのつながり（孤立化の防止）
- ・生きがいづくり
- ・学びの場

ワーク①より

（存在意義について）

- ・地域の活性化
- ・活動を通じての繋がりの広がり
- ・居場所の確保

ワーク②より

【現状・課題】

- ・新規加入者がいない
- ・活動がマンネリ化
- ・サークル・団体同士の繋がりの希薄
- ・高齢化や後継者不足による既存団体の解散
- ・サークル・団体の活動情報の不足
- ・仲間内だけの活動
- ・課題の共有がサークルや団体でできていない
- ・行政、公民館が課題を把握しているながらも支援策を講じられていない。

委員へのアンケートより

【新たな課題】

新型コロナウイルス感染症により、サークルや社会教育関係団体の活動が制限されて

支援

検討課題①

サークルや団体の加入者を増やすには？

支援策として・・・

検討課題②

サークルや団体の横のつながり、活動の横つながりを充実させるためには？

支援策として・・・

検討課題③

「新しい団体」の立ち上げを促進するためには？
（サークルから社会教育関係団体への移行を促進する観点も含めて・・・）

支援策として・・・

今回の会議では、支援策の案を検討します。（黄色い枠の中）

新型コロナウイルス感染症という今まで経験したことのない状況も含めて、新しい生活様式スタイルも含め案が必要と考えます。会議の際に、ご意見をいただきたいと思いますので、図案の内容も含めてご検討いただけますと幸いです。